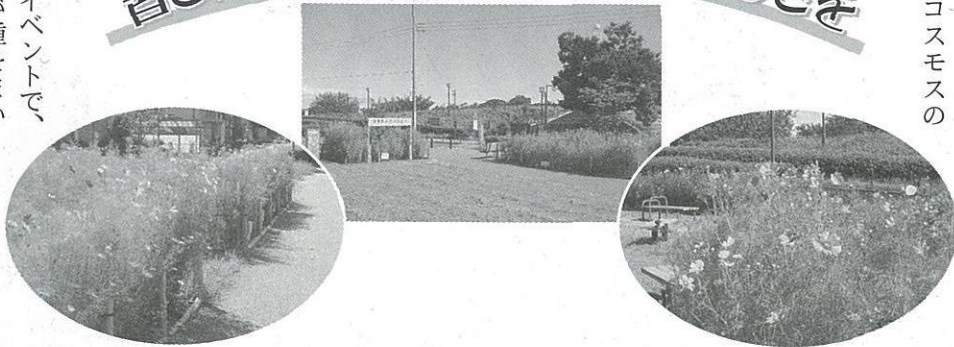


平成23年6月19日(日)、万願寺浅川スポーツ公園外周のコスモスアベニューで開催した「第14回コスモスアベニュー事業」コスモスの

# 皆さんの育てたコスモスがやすらぎを



種まきイベントで、皆さんが種をまいたコスモスが見ごろを迎えようとしています。  
今年は、豊田南から万願寺へ実

場所を変更し、常連の団体さんや新たな団体さんなど、多くの地域の皆さんと市及び環境緑化協会が力を合わせ、協働で事業を行いました。

管理に際しては、今年も除草等の作業を合同で行う管理日を3回実施するなど、参加された皆さんと暑い夏のさなか、共に汗を流しました。

また、今回より「ふれあい」と「真心」をテーマに花のまちづくりの輪を市内へ広めております本事業ですが、特に今年は3月に起こった大震災で被災された方々や復興に向けて立ち上がっている多くの皆さんに、少しでも元気や勇氣、やすらぎを届けようという思いでやってまいりました。

そして今、参加された皆さんの思いのつまったコスモスの花が、ちょうど見ごろを迎えようとしています。台風の影響で風に倒されてしまったものもありましたが、白・ピンク・紅と色鮮やかに元氣良く咲き誇ったコスモスを是非ご覧ください。

少しでも元気や勇氣、そしてやすらぎを感じていただけたら幸いです。

今後とも本事業に多くの方のご参加・ご理解・ご協力をお願いいたします。

(K・W)

## 水の郷・日野を視察

### アジア太平洋地域の若手研究者が訪問

2011年8月5日に、アジア太平洋地域の若手研究者19名が日野市を訪れました。今回の訪問は、国際連合大学(国連大学) ProsperNetと法政大学が共催する、第2回ヤングリサーチャーズスクール(YRS)のプログラムの一環として行われました。このプログラムは、「都市の持続可能性について日本の経験から学ぶ」をテーマとして、世界的大都市である東京の持続可能性について学びながら、国際交流を深める教育ネットワークです。日野市を訪問した目的は、環境の分野で先進地域として知られる日野市の取り組みを学び、市民と行政によって守られている水の郷・日野の風景を視察し、今回のテーマについての認識を深めることです。私は、ProsperNetに加

入している法政大学サステイナビリティ研究教育機構のメンバーとして、法政大学エコ地域デザイン研究所の長野さんとともに案内人をしました。訪問した場所は、日野用水下堰、日野図書館、よそう森公園、中央図書館下湧水、多摩平の森、黒川清流公園、せせらぎ農園、石坂ファームハウス、日野市生活・保健センターです。当日は多くの参加者から里山を見たいと要望があり、予定を変更して石坂ファームハウスへ行きました。百草団地を抜けると、突然広がる谷戸の風景に、参加者からは歓声が起こりました。

最後に訪れた日野市生活・保健センターでは、日野市役所の各課の若手職員約10名とワークショップを行いました。ワークショップでは、グループ毎に分かれ、日野市を視察した印象や質問をもとにディスカッションを行いました。参加者からは、「水路や湧水がある風景に親しみを感ずる」「黒川清流公園で多くの家族が集まり、子供が水路で遊ぶ生活環境が素晴らしい」「農地を残すためにどのような努力をしているのか?」「用水を今後どのように保全・活用していくのか?」といった意見や質問がありました。

日本滞在中は、多忙な日程が続いていた参加者でしたが、冷たい湧水で手や顔を洗ったり、子ども達と遊んだりしながら、終始リラックスした様子で今回の訪問を楽しんでいました。

石渡 雄士(法政大学)



石坂ファームハウスで里山見学 (撮影:長野浩子)